

令和3年7月1日（木）



昨日、第1回学校運営協議会を開催しました。会に先立ち、教育長様に代わって、校長から委員に辞令書を手交させていただきました。

はじめに、子ども達の学習の様子を参観していただきました。

次に、飯豊町教育委員会社会教育課の方から改めて、「コミュニティスクール（学校運営協議会制度）」について、

「学校運営協議会委員に求められるものは、学校の応援団長、そして地区を巻き込む実働部隊としての役割です。」

「協議において留意していただきたいことは、学校と同じ目線で、未来志向で前向きに、そして学校と対等な立場で、責任を持って主体的に進めることです。」といった説明をしていただきました。

その後の会長、副会長の選出では、西部地区公民館長様に会長を、中津川地区公民館長様に副会長をお引き受けいただくことになりました。

協議の際に、校長から学校運営方針及び重点について説明させていただき、承認していただきました。その際、重点目標の一つである「社会力」を育てていくために、学校運営協議会委員の一員でもある地域学校協働活動推進員から、子ども達の学習と地域をつなぐコーディネーターの役割を担ってもらっていることを説明しました。

最後に、委員の方々からは、「コロナ禍で、ゲームやユーチューブ視聴の時間が長くなり、都会の子どもと変わらない生活をしている。自然豊かな手ノ子で暮らすメリットを感じているのだろうか？」

といった現状から、地域で子ども達をどのように支えていけばよいのか、様々な意見が出されました。

令和3年7月7日（水）



先週2日（金）と昨日6日（水）に、第1回の民生委員・児童委員と語る会を開催しました。西部地区公民館と中津川地区公民館に校長と教頭が出向き、地区での子ども達の様子をお聞きしました。どちらの公民館でも、子どもの減少に加え、コロナ禍で地区の行事も行えなかったことから、子どもの姿が見えづらいというご意見を多くいただきました。

また、西部地区公民館では、複式学級のことや子ども達の運動不足による体力の低下、学年を超えた縦のつながりの大切さ等について話題になりました。

また、西部地区公民館では、複式学級のことや子ども達の運動不足による体力の低下、学年を超えた縦のつながりの大切さ等について話題になりました。

中津川公民館では、学校運営協議会で授業を参観した際、一人一人にタブレットが準備されており、電子黒板を使って授業をしている様子にIT技術の進歩を感じたというお話から、外出しなくてもインターネットで様々な情報を得られる今の子ども達に求める「人とのつながり」について話題になりました。

昨日は、先日西部地区公民館で話題に挙がった外遊び用の一輪車を点検・修理するために、西高峰・中通・橋本地区担当の民生委員・児童委員の方が、自転車屋さんをしていたお兄様と一緒に来校してくださいました。

今後とも、手ノ子小の子ども達が、地域の方々に見守られながら、人とのつながりの中でよいよ自分に向かって学ぶことで、未来の飯豊町の創り手を育てていきたいと思いをします。

令和3年7月16日（金）



7月14日（水）に置賜教育事務所の学校訪問があり、所長様、副所長様、主任管理主事様、管理主事様の4名が来校されました。

はじめに、校長から学校経営や教職員の状況と課題について説明し、その後、教頭の案内のもと授業・校舎を一巡していただき、子ども達や担任の姿から成果と課題を共有しました。

最後に、所長様から、
「校舎に入って雰囲気の高さを感じた。玄関に入ると映像で子ども達の活動の様子がすぐ見える、色々な物がきちんと整理整頓されている、ふとよく見るとお花が活けてあるといった、細やかな心配りも含めて、学校の温かさや安心・安定を非常に感じた。管理職は、学校の課題をしっかりとらえ、それに対する改善策も持っている。この4カ月弱で学校をよく見て地域と関りながら学校経営を進めている。子ども達が自分の心を開いて言葉を発し、担任はそれをしっかりと受け止めている。担任が明るく、一人一人を大事にして見事に子ども達を動かして素晴らしい。子どもの学びの姿が素晴らしい。複式で下の学年も学ぶだろうし、きっと担任も子ども達から学んでいるのではないかと。複式指導というのは子どもに力を付ける学習形態。学習指導要領で目指す主体的・対話的で深い学びに直結するものである。教材研究の大変さはあるが、そのポイントを押さえれば、子どもに上手く任せて引き出すことを大事にして力を付けることは可能。その際、いかに深い学びにつながるか、教科の本質的な学びにつながる。」
といったご指導・ご助言をいただきました。

令和3年7月20日（火）



昨日、3・4年生が置賜白川の水質調査を行いました。7月1日（木）に白川ダム管理事務所の支所長様と係長様、町役場の商工観光課長様が来校され、事前学習会を開いてくださいました。当初は6日（火）に調査を行う予定でしたが、雨天による増水のため延期となっていました。

昨日は梅雨が明けて夏空の下、白川ダムビジョン推進会議の会長様をはじめ、県環境科学研究センター、白川ダム、町役場、西部地区公民館から9名の方々がご協力くださり、西高峰橋上流でパックテストを、上原橋付近で生物調査を行いました。

16日（金）に、4年生が社会科見学で浄水場と下水処理場を見学したばかりだったので、出発前の校長の挨拶の際に、

「みなさんの生活に欠かせない貴重な水である置賜白川の水が、どれだけ自然が豊かできれいな水かしっかり調査してきて、上下水道の水と比べたりつなげたりして考え、学習を深めてほしい。」と伝えたところです。

令和3年7月27日（火）



1学期74日間の学校生活を終え、本日27日（火）に終業式を迎えました。1学期を振り返ると、コロナ禍においても、基本的な感染防止対策を施しながら、ほぼ予定どおり教育活動を進めることができ、子ども達が元気に学校生活を送ることができたことが何よりも喜ばしいことだと感じています。昨年度と違

い、校内外で外部講師による様々な体験活動を実施することができましたし、水泳学習も実施することができました。子ども達の健やかな成長のために、保護者・地域の皆様から、物心両面で温かいご支援を頂戴いたしましたこと、改めて感謝申し上げます。

夏休みの過ごし方については、昨日の全校朝会で、生徒指導担当から、「夏休みにひそむきけん」「プールの使い方」という二つの内容について指導しました。

「夏休みにひそむきけん」については、「水」「火」「心」「車」「金」に関わる事故に気を付けて自分の命を守り、夏休みが終わった時に21名全員が元気に会えるようにという話をしました。

「プールの使い方」については、今年度7回予定している夏休みのプール開放の際、特に感染症・熱中症予防の約束を守り、プール監視に協力してくださるPTA保護者や地域協力者の4名の方に感謝の気持ちを込めて元気よく挨拶をすること等を話しました。